

リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立大野中学校【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の体系的な育成

【情報活用能力の育成】

文部科学省が示す情報活用能力の要素は右の通りである。本校では、これらの情報活用能力の要素をバランスよく育成することを目指し、体験や活動を通しての学びや調べ学習について、総合的な学習の時間にスライド形式にまとめることを推進している。

スライド形式でのまとめ作成にあたっては、まず、情報収集や整理・分析（A 知識及び技能）を行う。それらの情報をもとに、受け手の状況等に応じて、表現・発信（思考力、判断力、表現力等）する必要がある。作成したスライドを共有することで、受け手を意識して情報を取捨選択するなど試行錯誤し、改善しようとする態度や多角的に情報を検討しようとする態度（学びに向かう力、人間性等）を身に付けることができる。このような体系的な情報活用能力の育成に向けて、3年間を見通して取り組んでいる。

分類		
A. 知識及び技能	1 情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	①情報技術に関する技能 ②情報と情報技術の特性の理解 ③記号の組合せ方の理解
	2 問題解決・探究における情報活用の方法の理解	①情報収集、整理、分析、表現、発信の理解 ②情報活用の計画や評価・改善のための理論や方法の理解
	3 情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	①情報技術の役割・影響の理解 ②情報モラル・情報セキュリティの理解
B. 思考力、 判断力、 表現力等	1 問題解決・探究における情報を活用する力（プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む）	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用し、問題を発見・解決し、自分の考えを形成していく力 ①必要な情報を収集、整理、分析、表現する力 ②新たな意味や価値を創造する力 ③受け手の状況を踏まえて発信する力 ④自らの情報活用を評価・改善する力 等
C. 学びに向かう力、 人間性等	1 問題解決・探究における情報活用の態度	①多角的に情報を検討しようとする態度 ②試行錯誤し、計画や改善しようとする態度
	2 情報モラル・情報セキュリティなどについての態度	①責任をもって適切に情報を扱おうとする態度 ②情報社会に参画しようとする態度

*「学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力の育成」より引用